

問題1 2変数 (x, y) の関数 $z(x, y)$ が以下の式で与えられているとき、

一次偏導関数 $\frac{\partial z}{\partial x}, \frac{\partial z}{\partial y}$ および全微分 dz を計算せよ。

(1-1) $z = 2x^2y - 3xy^3$

(1-4) $z = x \sin y$

(1-2) $z = \sqrt{x^2 + y^2}$

(1-5) $z = \log(x^2 + y^2)$

(1-3) $z = e^{xy}$

(1-6) $z = \frac{x - y}{x + y}$

問題2 2変数 (x, y) の関数 $z(x, y)$ が以下の式で与えられているとき、

二次偏導関数 $\frac{\partial^2 z}{\partial x^2}, \frac{\partial^2 z}{\partial y^2}, \frac{\partial^2 z}{\partial x \partial y}, \frac{\partial^2 z}{\partial y \partial x}$ を全て計算し、

$\frac{\partial^2 z}{\partial x \partial y} = \frac{\partial^2 z}{\partial y \partial x}$ が成り立つことを確かめよ。

(2-1) $z = 2x^2y - 3xy^3$

(2-2) $z = e^{xy}$

問題3 2次元 xy 座標 (x, y) と2次元極座標 (r, θ) の関係式は、

$$\begin{cases} x = r \cos \theta \\ y = r \sin \theta \end{cases} \quad \begin{cases} r = \sqrt{x^2 + y^2} \\ \theta = \tan^{-1} \frac{y}{x} \end{cases}$$

で与えられる。 t を時刻とする物体の2次元運動を考える。

(3-1) 物体の速度ベクトル $\vec{v} = \left(\frac{dx}{dt}, \frac{dy}{dt} \right)$ を $\frac{dr}{dt}, \frac{d\theta}{dt}$ を用いて表せ。

(3-2) 角速度 ω の等速円運動のとき、 $\frac{dr}{dt} = 0, \frac{d\theta}{dt} = \omega$ となる。このとき、

$$v = \sqrt{\left(\frac{dx}{dt} \right)^2 + \left(\frac{dy}{dt} \right)^2} = r\omega$$

となることを示せ。

(3-3) 物体がポテンシャルエネルギー $U(x, y)$ の中を運動するとき、物体に働く力は

$$\vec{F} = - \left(\frac{\partial U}{\partial x}, \frac{\partial U}{\partial y} \right)$$

である。このとき、

$$\vec{F} \cdot \vec{r} = -r \frac{\partial U}{\partial r}$$

が成り立つことを示せ。ただし、位置ベクトルを

$$\vec{r} = (x, y)$$

と書いた。